



各社協力会社様より21名(21社)ご参加いただき、日本ステージから12名参加しました。今回のNSS総会において、本年度会計報告、来期の予算計画、役員・幹事の改選が取り決められました。総会后、中村顧問による6月1日より施行された足場規則改正の話や(株)ワークツーステーション梅沢様による企業の賠償責任対策を勉強しました。会終盤には現場の事故、昨今の事故についての責任所在や今後の対策について議論が盛り上がり、時間も押すなか閉幕いたしました。

足場からの墜落防止対策を強化します!

～平成27年7月1日から施工～



NSS会勉強会に於いて、中村顧問より議題となった、『足場の墜落防止策の法改正』について、ここで詳しくお伝えいたします。本日、7月1日より労働安全衛生規則の一部改正が行われます。

(1) 足場の組立て等の作業に係る業務の特別教育の追加

足場の組立て、解体または変更作業のための業務に労働者を就かせる際には特別教育を3時間受けた者が現場にいる必要があります。(対象は足場主任者の資格所有者をのぞく。)

(2) 足場の作業床に係る墜落防止措置の充実

最上階で幕を張る場合は、作業床になるので全面敷き込み。照明機材取付けに係る場所に於いても、作業床と見なされ、全面敷き込みとなる。

(3) 足場の組立て等の作業に係る墜落防止措置の充実

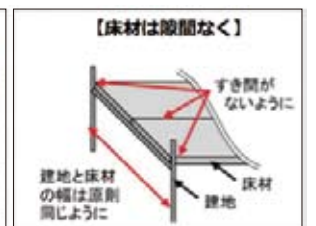
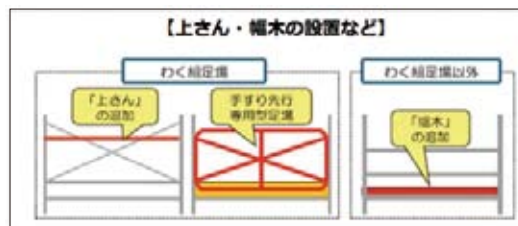
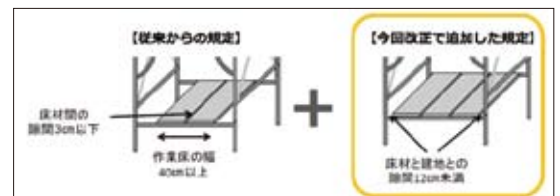
対象を高さ2m以上の構造の足場まで拡大する。幅40以上の作業床を設けること。安全帯取付け設備等の設置及び安全帯を使用させる措置を講ずる。(※親綱の設置)

(4) 鋼管足場に係る規定の見直し

手すり、幅木の強化。

(5) 注文者の点検義務の充実

足場又は作業構台の組立て、一部解体又は変更の後において、点検し、危険のおそれがあるときは、速やかに修理する。



作業上の安全を確保するには、今まで以上に時間と手間がかかることを関係各位に理解してもらう必要があります。また、『鋼製布板の入れ方』『親綱の充実』が今後の課題になってきます。足場の組立て等の作業に係る業務の特別教育については、現場作業員だけでなく、部材を発注する注文者にも受ける必要があるかと思われます。進展があり次第、安全衛生向上委員会よりお知らせいたします!!